

百有

其後益々は遠まやては舊日との由承り亮し

お上げましり 万て 和共 一家も幸に無事なり此

ウラフス 百有むのさまと 全けくめに御ひつりま

りて 此のたび 二ラドの クラド ジャレク シヨ

申す 可い 行る こと 致し まで 八月お出は

ときめて 万りましり 先のアドレスは 主た

まかし かり 信じて 申上 ます

取と 先路の 紙 手 廻り ます

田舎へ 出で たい どの おぼしめを 申す 申し

おえ ます どの お 其の 所を 月々 くりや モネ 二百 拜

を 得る 居ら ます こと 申す ます さい ちか ちか

田舎へ 入は ば 同 意 致し かね ます

養 師 御 ます どの 田舎へ 申す ます 申す 申す

の 信 寄 ます どの ね ね 申す ます 申す 申す

と 申す ます 申す ます 申す ます 申す ます

収 入 申す ます 申す ます 申す ます 申す ます

の 水 掛 申す ます 申す ます 申す ます 申す ます

ほん とうに 申す ます 申す ます 申す ます 申す ます

こと 申す ます 申す ます 申す ます 申す ます

故に 収 入 申す ます 申す ます 申す ます 申す ます

「こけり」にちかまるし

彼が地リコニラト 予のじいぢ ランチ 五六十莖のフルーツが

所ももたまもも まさき 其何うけるやういすくおまきん

私共ハの十莖の亮叶 田舎ひま ^{おの}たの ^{おの}たの 三つ ^{おの}文の ^{おの}ハにちか

たり ちりて 水の都々で 五十莖の此ゆ ^{おの}耕作 ^{おの}可能 ^{おの}ま

此以上のま ^{おの}ま ^{おの}ま ^{おの}ま

化知 ^{おの}トメ ^{おの}ト ^{おの}ト ^{おの}ト ^{おの}ト ^{おの}ト ^{おの}ト ^{おの}ト ^{おの}ト

おの ^{おの}ア ^{おの}ト ^{おの}ト ^{おの}ト ^{おの}ト ^{おの}ト ^{おの}ト ^{おの}ト

山田

北トトキを毛の設路の南々東の方向

この道は流石の所はまことに廣く地勢

平らな所は少く又ゆるやかな所も少く

すなわち田舎の連環すると思はれ

北線を取るといへ。大根。アルバ。又

見るとカヤの多し。扶植の若し

あると思はれし。地は優に

フロホーを耕す。海臭とてス

た山石と石礫と石灰もた

フロホーは他の草木を以て

晴れ晴れ平田なまも甘

と地界の砂礫にふり

此の所の地味はゆるい

ゆるいなり

あり。下り坂に向かうと

毛とりステラフ。く

川は流石とて水

思はれり。かくも

橋の下の川に石を積み置ても思ひしむ塔のてし街はまほ
舟舟より街路の西側を仕まこられた植樹の街も勢よく
緑濃やうん かしこての副産と付佐中の風流もまほ
たるいなるに流しものさう

一友人はまの町に居る住の まもつ是も流同すく
道沿を向へは冬一町毎にステイの屋敷ありは是れ便
乘とてし必がさ路の多いテハハに居るす大街路す
よく右の方の区域は有徳ハツメサとてハヒイテや。右が下
サキエりまの木のまじりてはにまの田圃の地勢ははから居
に人なぬんたる仙橋のあまの厨起り旅居居るを
まのりもまのりすまのりまのりまのりまのりまのり

道のとににヤ右折して他の併り路を執るも併りハ
口中の上山約五哩と云はれ中又二哩と云はれ七十葉の
と併りせらるるまのり 又まのりす

併りハ 併りハ 併りハ 併りハ 併りハ 併りハ 併りハ
まのりまのりまのりまのりまのりまのりまのり
中心と云ふこと云はる

比隣路を一直線に並ぶラントドク 比隣路と併り路と云ふ
近めはらちまのりまのりまのりまのりまのりまのり

225
 72
 450
 225
 270
 3
 1131
 300
 15
 1500
 300
 4500
 15
 775-225-
 45
 675-0
 6000
 6750
 12 8100
 25 20950
 6 018644
 29 2203
 300
 2
 12
 15
 600
 12
 20
 120
 240
 25
 1200
 580
 8000

諸君の等

馬

協働のりしる物十日

直に始り

テウチのクリン

前うは事終りて天候王國と手月十日

十日

地さらい準佐測量 中は事終りて手月三日

一部がブラエユ 切り前と同時は滝澤夫

地さらい 二日ノ或ハ滝澤夫 二月一和と思ふ

フラワー 二或ハ二ノ或ハ二ノ二に二二人

アニオンの 地しやらぬ即ちテウチを切りハルをかける

二月中にたててもおまいにする馬又ハアール

滝澤夫 二ノ 二ノ 二人 滝澤夫

アニオン 時込み 四日 二ノ 二人 滝澤夫

エレケレシオン テウチの

カンマダ アニオン 四月十日 初まる 滝澤夫

アニオン 水かけ 四月 日法より 初まる 二

ピーチ ぼり河に手すきの者 二ノチ 柱介及びキヤチ苗

アニオンの 四月十日 協働より 約二週 同

トメトリ 柱介 五月十日 前介より 初まる 協働より 約三週

トメトリ 水かけ 127 84 60 250 300 120

アニオン 二番あり

一キヤク付 五月二十日 前後 送 勤 員

一可也 六月廿 七月廿 二回七月 回

八月二三四 九月 回

一 出 一 六月 年

一 全 一 七月 回 八月 回 或 二 回 2532

以後 収 獲

12 60 55

11252
2520
4845

5
60

300
15000
300

1864760

1416

98

15000
3500

1800
900
675

48

11250

9000

7080
2200
9280

1416

2250

4875

4248

45

5850
720

220

1500

925

3655

1020

675

2520

1024
1262

28

3500

165

1000

1000

1000

1000

1000

1000

5080
480

2200

1500

現金 1500
現金 1500
現金 1500

